

【国語科を原点に 言語環境を整えていく ~「ことばの力」が高まる教室づくりをめざして~】

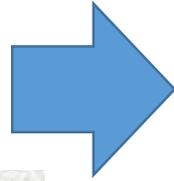
量 (言葉を知り、覚えていく)

質 (必要な言葉を正しく選んで使用し、広げ、深めていく)

①語彙数を増やす!

- ・ 学習用語 (教科書) を知る
- ・ 朝学習 (リズム漢字・朝読書)
- ・ 学習材の階段掲示
- ・ 辞書引き ・ 漢字クイズ
- ・ 語彙プリント (「子ども語彙力1200」)
- ・ 学校図書館 ・ ICT
- ・ 教室 (話し言葉・本文
拡大掲示・板書・印刷物)

教室 (教科書) で
初めて出会う言葉
の指導を丁寧に



②語彙力を磨く!

- ◎ 言語活動の充実 (+ 学習用語の活用)
- ◎ 「根拠」 ◎ 「類推」 (← R3は特に)

(1) 国語科
で活用し...

国語科で習得した
ことばの力を
(2) 他教科
でも活かす!



- ◎ 自分の考えを伝える (様々な表現方法で)
- ◎ 対話 ◎ 主体的な学習への仕掛け
- = 他教科の言語活動の充実

**生きてはたらくことばの力
(真の力)の育成を!**

【②語彙力を磨く!…(1)国語科の授業では】

① **言語活動**の充実

付けたい力を付けるためにふさわしい言語活動の工夫・設定が不可欠。



単元を通じて、**学習用語**を用いて子ども自身の考えを豊かに表現できる場を設定する!

新しい語彙の習得を
実感できるものに…

音読発表会やリーフレットづくり等を通じ、ことばの力を生きてはたらかせる!

② **根拠**を本文中から探す

読み深めないまま自分なりの解釈で答える児童が多い。



本文の言葉を大切に、根拠を求めた上で、自分の考えを練り上げていく!

なぜそう考えたの?
想像力を働かせる場合でも
根拠は本文に

③ 読解で、前後の文脈から**類推**する。



類推する力を付けるために多くの文脈に触れる機会を設定する!

読書環境の充実を
並行読書環境・週3回の朝読
→本が身近にある教室づくりを

【②語彙力を磨く!・・・国語科で習得したことばの力を(2)他教科で】

① 自分の考えを相手に伝える活動を

→短く、わかりやすく(要約)するなど、様々な表現方法(感想、説明、紹介、報告 etc.)

② 対話 で活用

→【ペア・グループ交流、全体での練り上げ】【教材対話・他者対話・自己対話】

③ 主体的な学習 へのしかけを

→ 必要感 → 問いが生まれ → 言語化

言葉や表現の面白さ
を感じさせながら

他教科でも言語活動の充実に繋げる意識を!

「資質・能力を育成する」ための国語の授業づくり（逆向き設計で）

- ①単元で付けたい力を明確にして、ゴールにおける子どもたちの姿をイメージする。
- ②付けたい力を付けるためにふさわしい言語活動を設定する。
- ③付けたい力を付けるための指導計画と、評価方法・評価規準を設定する。
- ④単元のまとめを見通し、一単位時間の学習活動を設定する。